

**【2015年度 事業計画】****I 事業の実施方針**

きょうとグリーンファンドは、活動開始から15年目を迎えました。18ヵ所のおひさま発電所の発電規模は137kWを超え、事業費は約1億4500万円となりました。これは、ひとえに多くの市民の協力の賜物といえるでしょう。しかしながら、気候変動はますます顕著なものとなり、再生可能エネルギーを軸とした持続可能なエネルギー社会の実現にはまだ距離があります。

私たちは、地球温暖化防止と共に原子力を利用しない社会をめざして、危機感を持ってさらに活動を進めていかねばなりません。さまざまな制度をうまく活用しながら、市民の手で自然エネルギーを普及させるとともに、今まで以上に省エネ・節電を進めて次の社会をめざす、その手立てとして、さまざまな可能性を模索しながら当初からの方向性を変えることなく、「おひさま発電所」づくりに丁寧に、確実に取り組みます。

- ① 市民が関わって設置を進める共同発電所として定着してきた「おひさま発電所」を、さらに進めます。対象施設も可能な限り広げ、市民を巻き込みながら地域づくり・まちづくりにつなげます。
- ② 意識と行動の変化を促し、担い手を育てるための環境学習を、おひさま発電所となった施設との協力、連携を活かし、地域への発信を意識しさらに効果的に進めます。
- ③ 上記の活動を達成するため、会員の拡大を図るとともに、認定NPO法人の制度を活用し、賛同金や寄付などを呼びかけ、財政基盤の強化につとめます。

**II 特定非営利活動に係る事業****太陽光発電設備設置事業**

固定価格買取制度や設置協力金、寄付、おひさま基金などを組み合わせた柔軟な仕組みで、「おひさま発電所」の設置をめざします。地域団体など他団体との連携や、避難所の整備としての観点も加え、対象施設の拡大を模索します。「おひさま基金」についても新たな協力、連携を進め、さらに基盤強化を図ります。

**環境学習活動**

- ① 設置施設にとどまらず、腹話術・自然観察会などのプログラムを各施設に提供します。
- ② スタッフを対象に省エネなどをテーマとした研修会を実施します。
- ③ 環境学習の機会をとらえて、おひさま発電所見学会も開催します。

**広報活動****① ニュースレターの発行**

年2回程度発行し、きょうとグリーンファンドの活動・温暖化やエネルギーなどに関する情報や会員相互の親睦を図る記事を会員・一般市民に提供します。

**② 各種催しに参加**

環境問題・エネルギーなどに関するイベントや地域の催しに参加して活動を紹介し、理

解と協力を求めます。他団体との連携も広げます。

③ ホームページなどを使った情報発信

きょうとグリーンファンドの活動状況をきめ細かく発信できるよう内容を更新します。

また、Yahoo! JAPAN「Links for Good」の支援により、Yahoo! JAPAN のページ上に広告を掲載し、寄付募集やボランティア募集、イベントなど活動情報の発信に役立てます。

協力・連携

「気候ネットワーク」「環境市民」「京都府地球温暖化防止活動推進センター」「京エコロジーセンター」「京のアジェンダ21フォーラム」「京都グリーン購入ネットワーク」「KES環境機構」「国際ソロプチミスト京都ーわかば」「ネオス株式会社」「京都御池中学校おひさまプロジェクト」以上の団体と協力・連携し活動を推進します。